

設計方針

■まちの要として、人が集い、賑わいをつくり出す庁舎

旧館周辺の屋内外の広場スペースは様々なイベントに活用できるとともに、城下町回廊と鶴ヶ城をむすぶ賑わいのネットワークをつくります。



北西からの外観・広場イメージ

■会津のランドマークとして、市民や市のシンボルとなる庁舎

新庁舎の低層部は旧館の意匠性を継承した外壁とし、高層部はボリューム感を軽減したカーテンウォールとすることで、歴史と未来を表現する市のシンボルとなります。



北東からの外観イメージ

■情報・市民サービスの拠点となる庁舎

旧館と新庁舎の間の多目的スペース（あいっこプラザ）は、歴史や観光、イベントなど様々な情報を発信するとともに、市民活動の場として活用できます。



（仮称）あいっこプラザのイメージ

■市民の暮らしを守る防災拠点としての庁舎

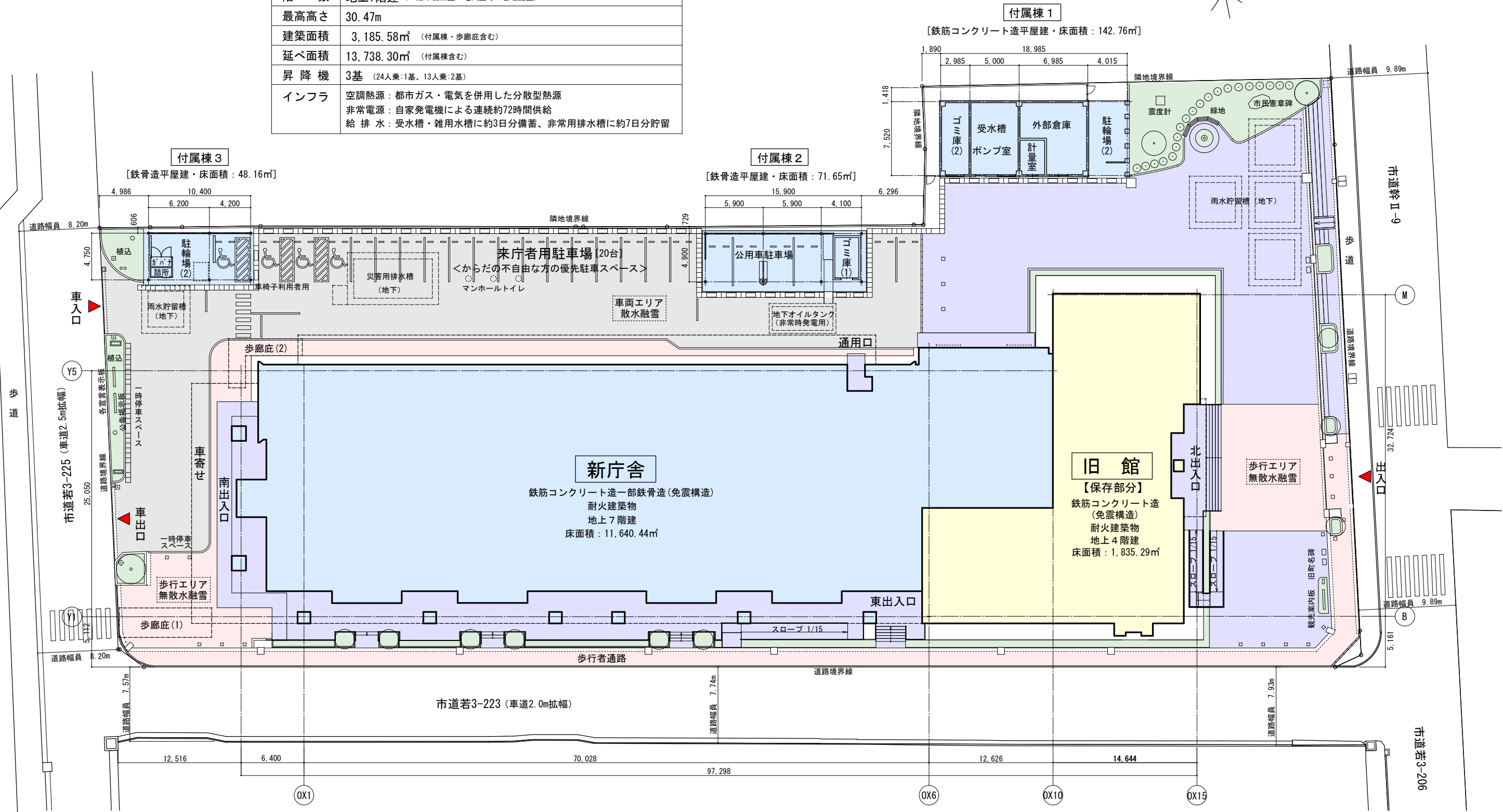
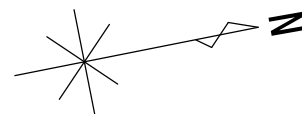
新庁舎や旧館を免震構造とすることで、大規模な地震があっても業務が継続することができ、被災者への対応など災害対策の拠点施設となります。



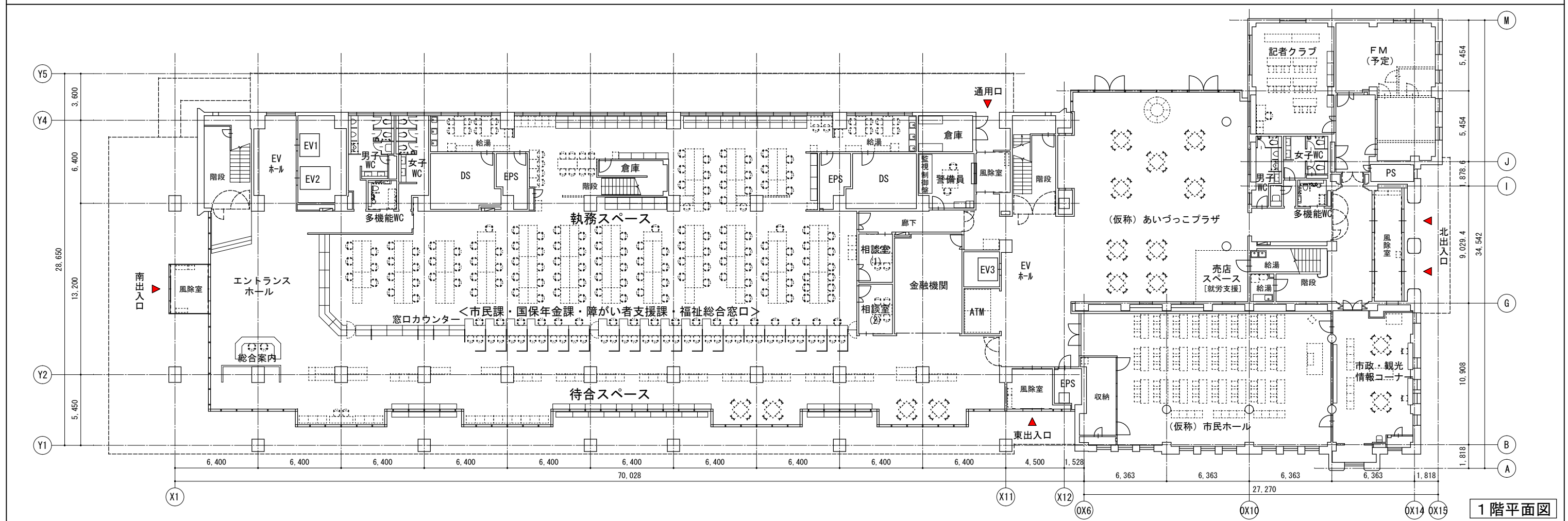
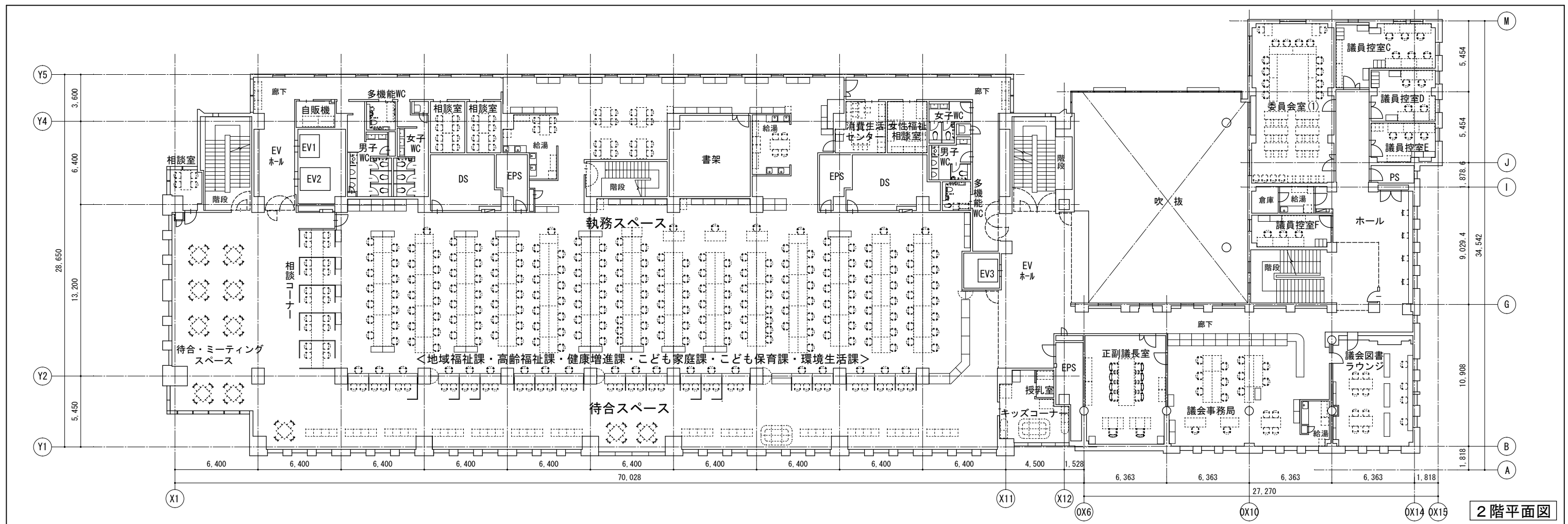
窓口カウンターのイメージ

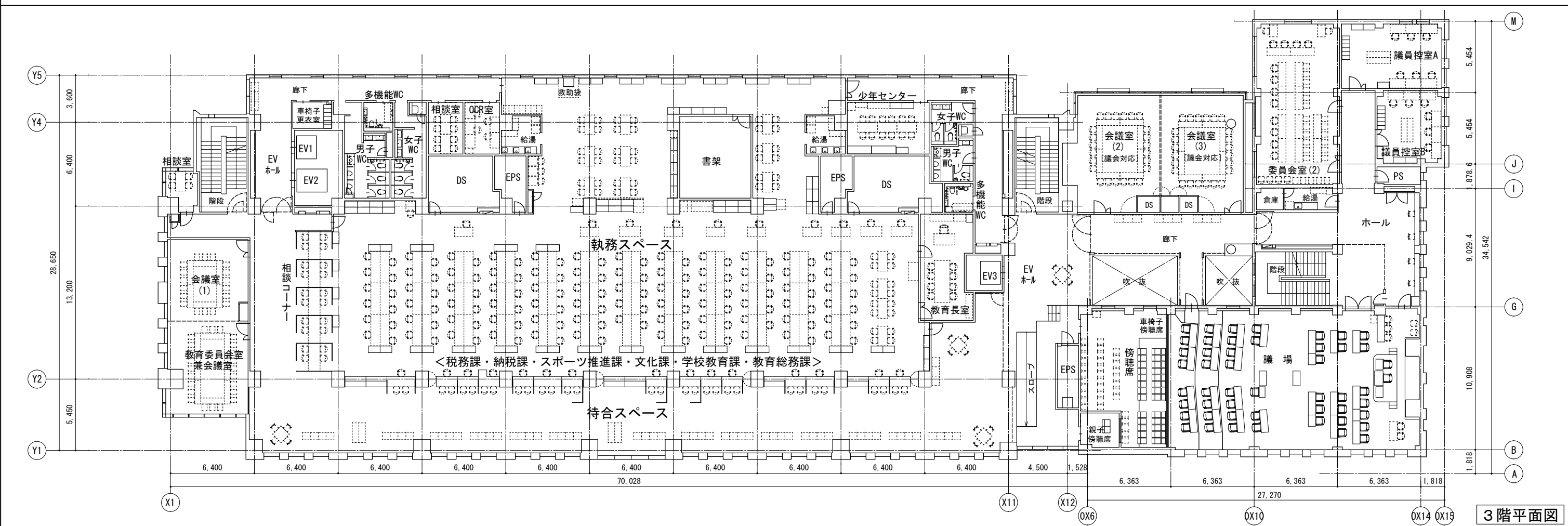
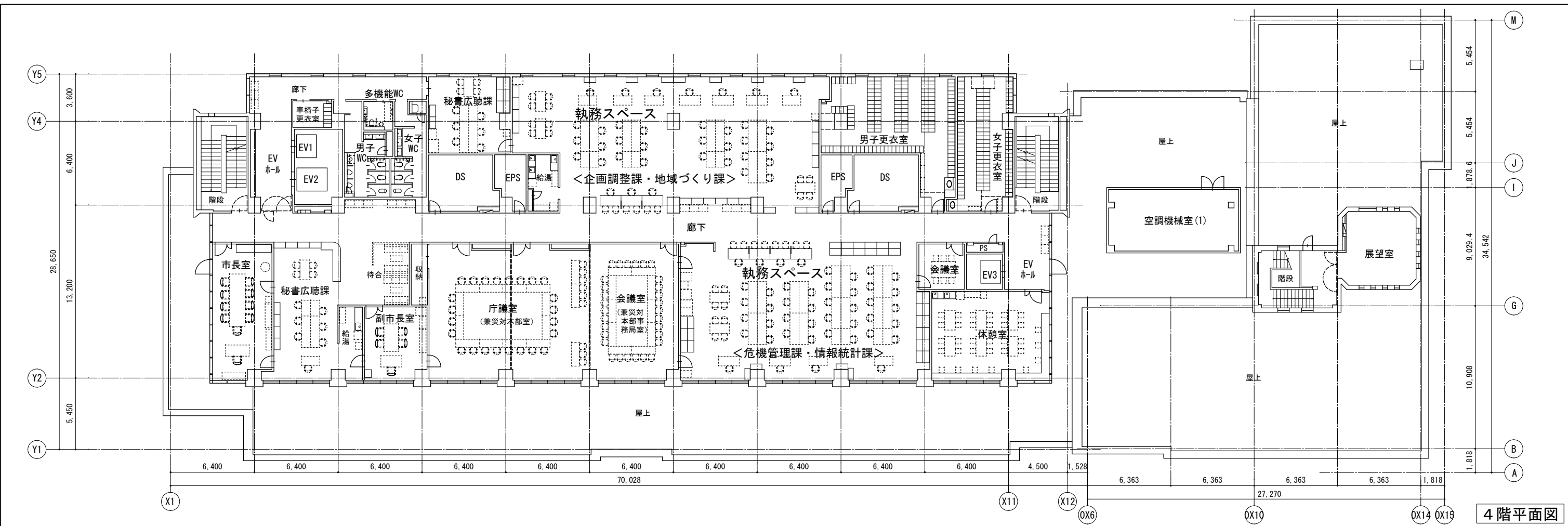
【庁舎概要】

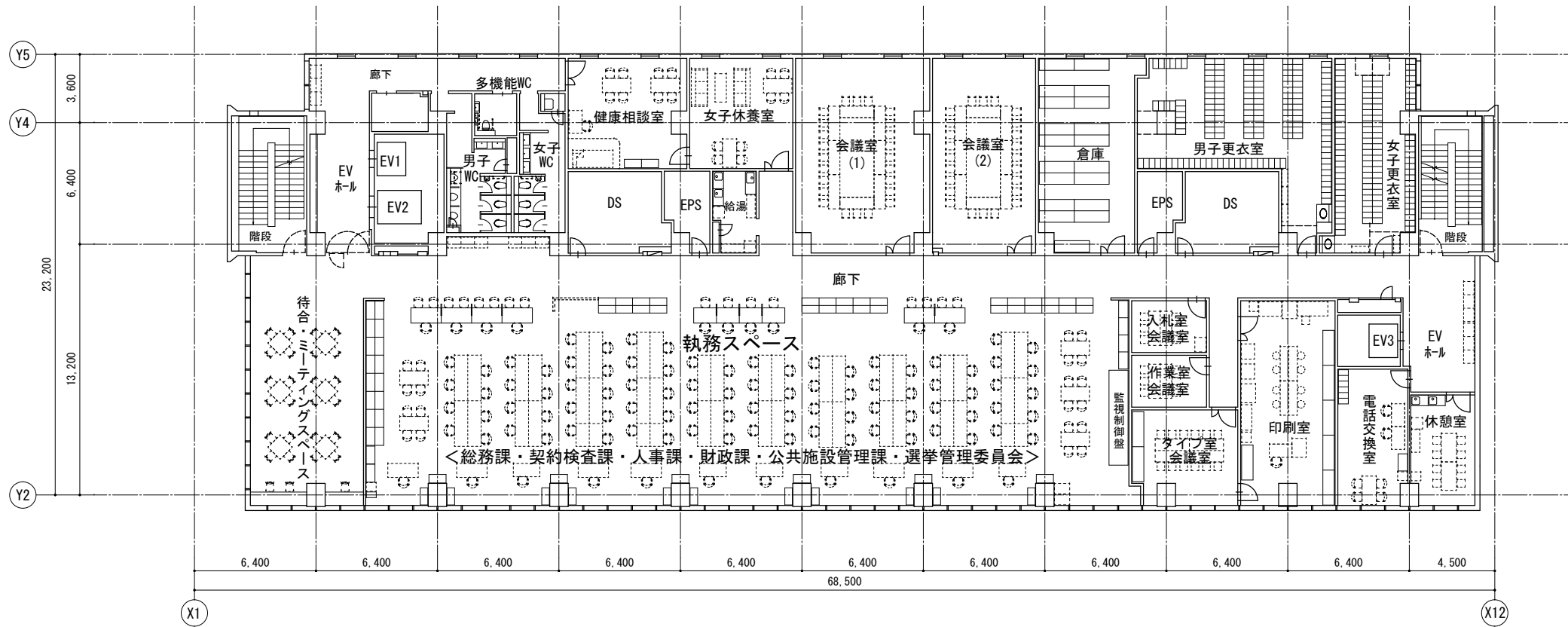
所在地	東栄町246番の一部、251番、281番、283番
敷地面積	6,277.68㎡
構造	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造（免震構造）
階数	地上7階建（7階は機械室・電気室等の管理諸室）
最高高さ	30.47m
建築面積	3,185.58㎡（付属棟・歩廊庇含む）
延べ面積	13,738.30㎡（付属棟含む）
昇降機	3基（24人乗:1基、13人乗:2基）
インフラ	空調熱源：都市ガス・電気を併用した分散型熱源 非常電源：自家発電機による連続約72時間供給 給排水：受水槽・雑用水槽に約3日分備蓄、非常用排水槽に約7日分貯留



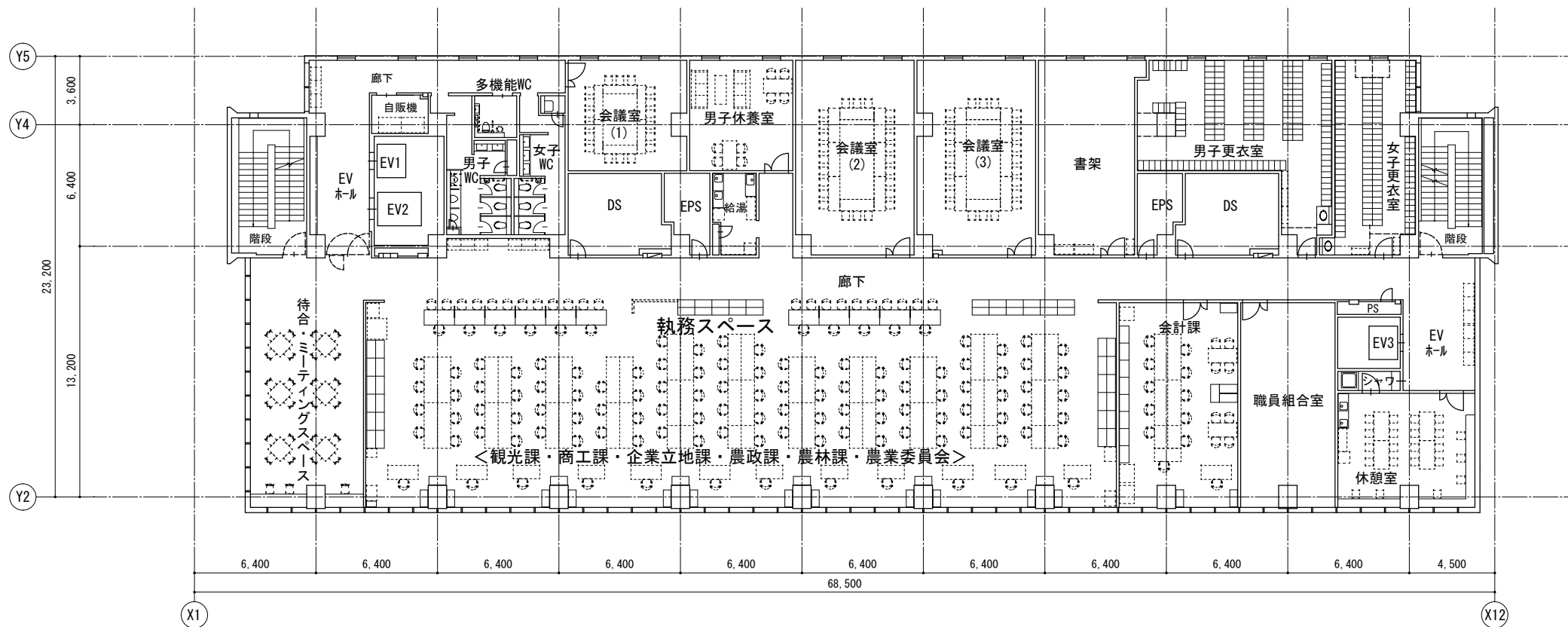
配置図



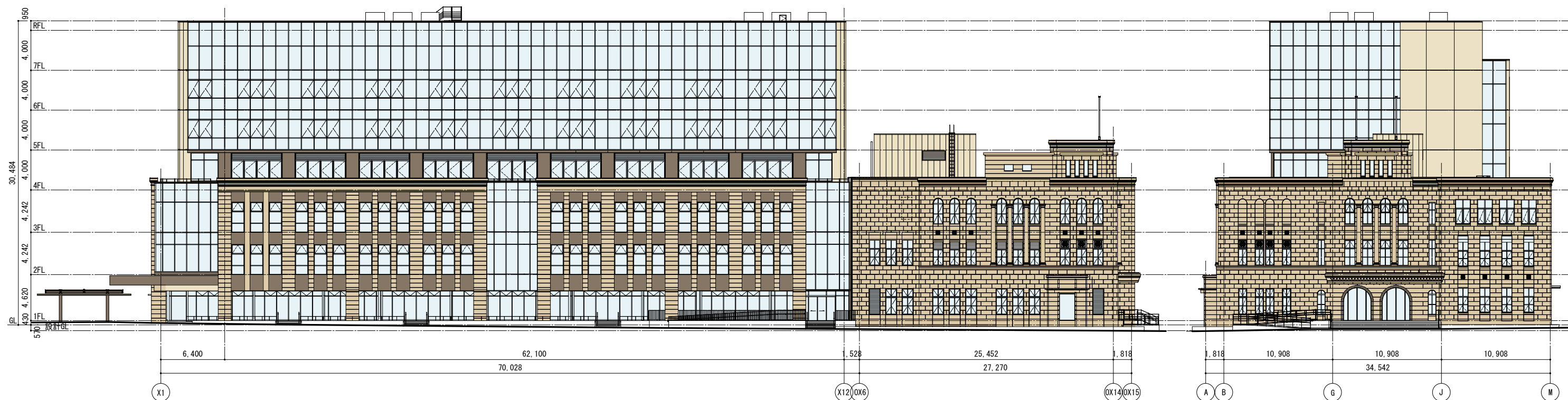




6階平面図

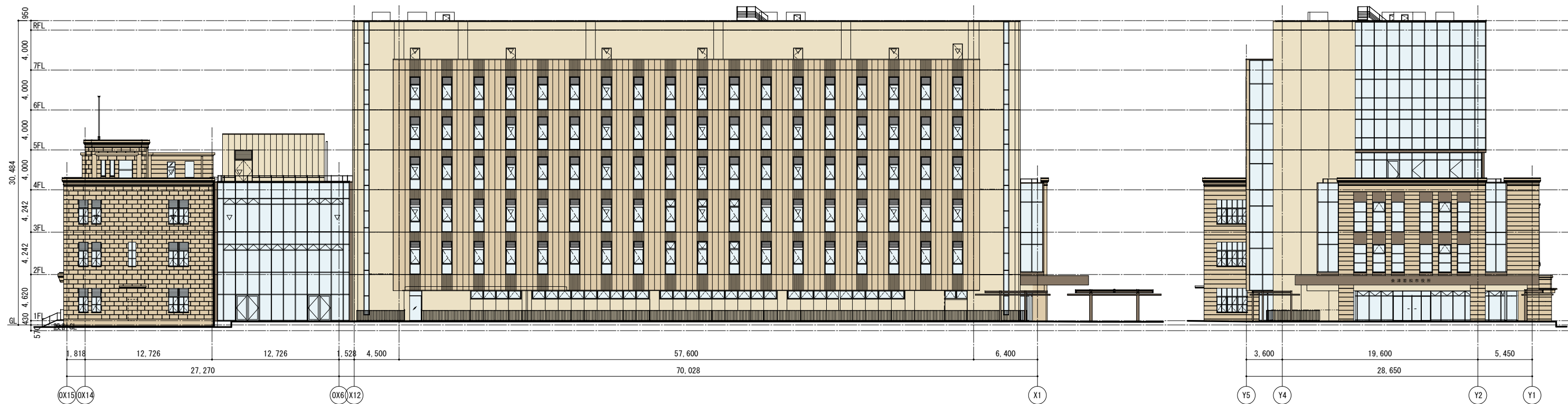


5階平面図



東立面図

北立面図



西立面図

南立面図